

令和8年度 英語活動実施状況

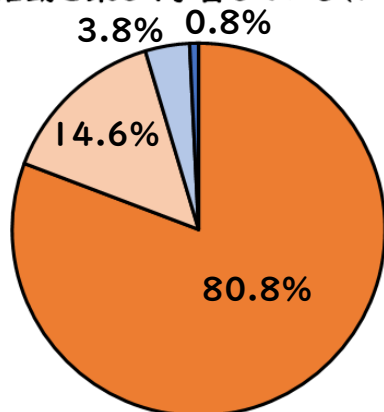
1 自己評価結果

令和7年度に英語活動を行った1年生から4年生までの児童にアンケート調査を実施しました。「英語活動を楽しく学習している」という質問に対する調査結果は、以下の通りです。

1・2年生の調査結果をみると、「そのように思う」、「ややそのように思う」と回答した児童は、全体の95.4%でした。また、3・4年生の調査結果をみると、全体の81.0%でした。この調査結果から、本校の児童は英語活動を「楽しく学習できている」ことが分かります。3・4年生の外国語活動では、「コミュニケーションを図る楽しさを知ること」が目指されており、本校のSTとの授業においても、英語を聞き取りながら、英語で楽しそうにコミュニケーションを図ろうとする児童の姿が見ることができると考えられます。

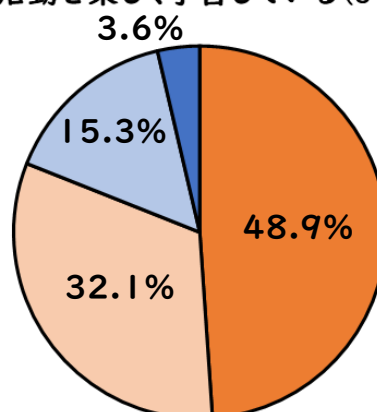
一方で、「あまりそのように思わない」、「まったくそのように思わない」と回答した児童も各学年で一定程度みられます。まずは「英語に親しむことの楽しさ」を実感できるように、歌やチャンツのリズムに乗って、英語で話したり、動作したりすることができるよう支援を進めていきます。

英語活動を楽しく学習している(1・2年生)



- そのように思う
- ややそのように思う
- あまりそのように思わない
- まったくそのように思わない

英語活動を楽しく学習している(3・4年生)



- そのように思う
- ややそのように思う
- あまりそのように思わない
- まったくそのように思わない

注：四捨五入の関係で、値の合計は必ずしも100%にならない場合がある。

2 まとめ

本校は朝の時間になると、各教室から英語活動に取り組んでいる児童の元気な声が響いています。歌やチャンツのリズムに乗って、英語を発声する児童の元気な姿は、より一層学校を活気付けています。英語活動に取り組むことで、児童が英語活動を楽しみ、英語に慣れ親しむことができています。そして何より、児童が英語でコミュニケーションを図ることへの抵抗感を取り除き、英語は楽しいものであるという気持ちを喚起することに寄与しています。そのため、高学年の外国語科では、英語に対する抵抗感がなく、ALTの英語による指示をスムーズに聞き取って活動したり、躊躇せず英語で友達と会話したりする姿が多く見られます。

英語活動は、私たちを取り巻くグローバル社会に対応できる英語力を身に付けることができると考えます。将来、児童が社会の担い手として活躍するために、価値のある活動と実感しています。今後も本校では、児童が英語に親しむことで実感できる「楽しさ」を大切にしながら、特色ある英語活動を推進していきます。